平成１３年度当初予算　基本事務事業目的評価表

基本事務事業名］（３０１）バリアフリー社会推進事業
評価年月日］　平成１２年１１月１４日
主担当部課名］　健康福祉部　健康福祉政策課
記入課名・課長名・電話］　健康福祉政策課　上廣正男

1　総合計画の政策体系上の位置づけ
政策　：（Ⅱ－２）健やかな生活の確保
施策　：（　１　）高齢者や障害者が活動できる環境づくり
総合計画の目標項目　：　三重県バリアフリーのまちづくり推進条例施行
波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策　：　人権施策の総合的推進、生涯学習の推進、市民活動の推進、人と地域を支える文化の振興、スポーツの振興

2　基本事務事業を巡る環境変化（過去、現状、将来）

障害者や高齢者等がバリアを感じていたまちづくりから、ノーマライゼーション理念の普及により、普通に生活できるバリアのないまちづくりの推進が求められてきている。

バリアフリーのまちづくり推進条例が制定され、啓発、教育、ボランティア活動や公共的施設のバリアフリー化の取り組みが、県、市町村、事業者及び県民により推進され、障害者や高齢者等が自由に社会参加できるバリアフリーのまちづくりが推進される。

3　基本事務事業の目的と成果
3-(1)　対象と意図（何をどういう状態にしたいのか）

超高齢社会の到来が予想されるなか、ノーマライゼーション理念の普及により、障害者や高齢者等が普通に生活できる社会の実現が求められており、バリアフリーのまちづくり推進条例の施行により、障害者や高齢者等が生き生きと活動できる社会を実現する。

3-(2)　成果指標名・成果指標式（総合計画の目標項目には＊を付す）

バリアフリーのまちづくりビジョン達成度

$$\frac{\text{バリアフリーのまちづくりビジョン達成度}}{\text{バリアフリーのまちづくりビジョン目標値}}$$

②変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3)　設定した成果指標に関する説明（指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など）

平成１１年度にバリアフリーのまちづくり推進計画を作成し、これに盛り込んだ数値目標を分母とし、達成度を分子として成果目標を設定した。

3-(4)　結果（施策における2010年度の目標）

4　基本事務事業の評価
4-(1)　前年度（H11年度）における基本事務事業の結果評価
①前年度に行った内容と成果

平成１１年４月施行の三重県バリアフリーのまちづくり推進条例の普及啓発等を行った。
また、バリアフリーのまちづくり推進協議会の意見を聞いて、推進計画を策定した。
全庁的にバリアフリーのまちづくりを推進するため、副知事を本部長とする推進本部を設置した。

②前年度に残った課題

条例に規定されている内容の積極的な推進策をどう展開していくか。

4-(2)本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

県職員バリアフリー体験セミナーにより、バリアフリーの考え方が全庁的なものになるとともに、バリアフリーアドバイザー養成講座の実施により、県民にもバリアフリーの視点をもってもらえた。

②本年度残ると思われる課題

地域で推進役になる人材を養成し、NPO として活動するためにバリアフリーアドバイザー養成講座を実施したが、まだ NPO として活動できる状態ではない。

---

5 基本事務事業の改革方向

各地域の特性を生かし、地域でバリアフリーのまちづくりを展開していく必要がある。

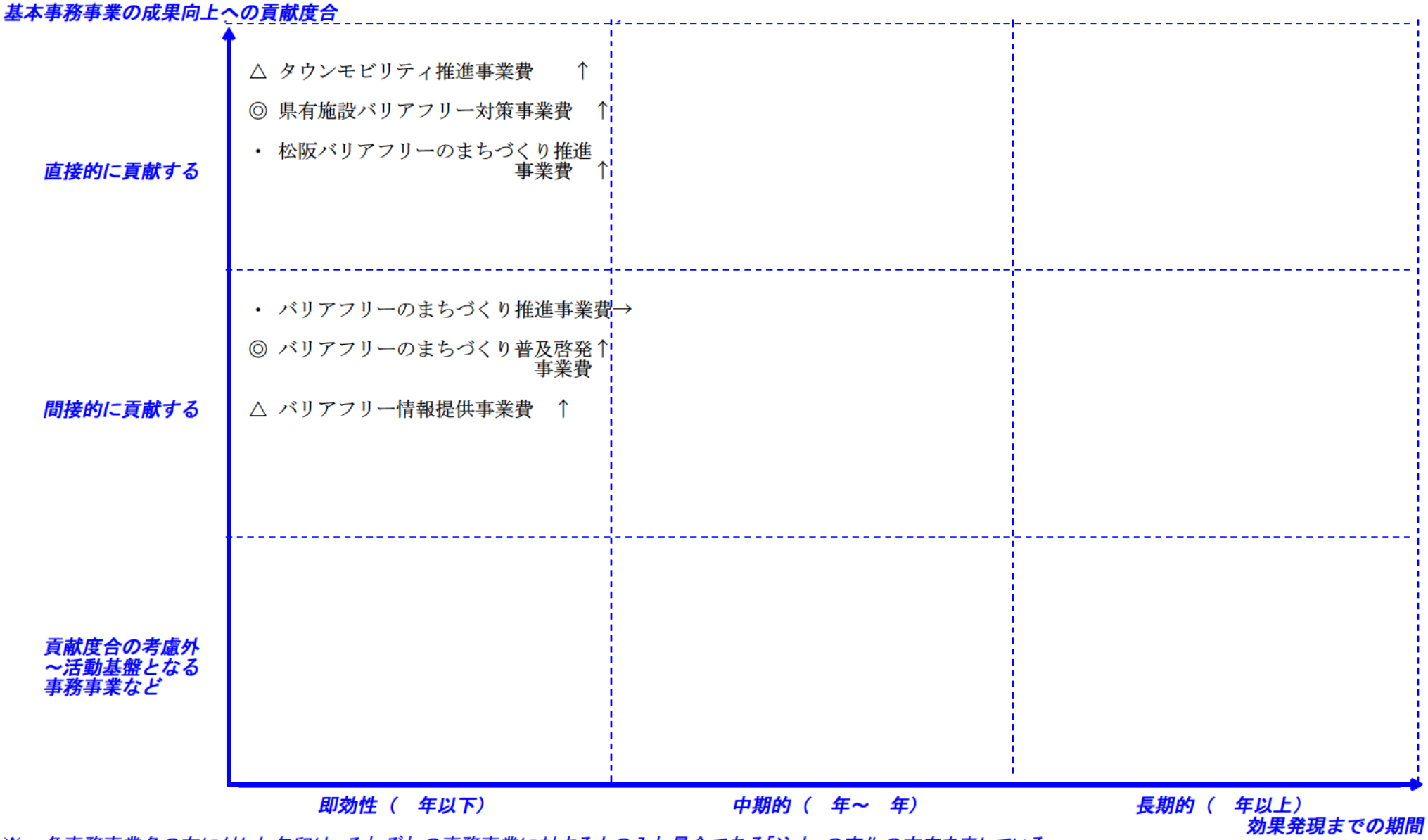
---

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値 目標	成果指標値 実績	総合計画 目標数値	予算額等（千円） 所要時間（時間）	必要概算 コスト（千円）
前々年度 (H10年度)				1，649 600	4，157
前年度 (H11年度)				58，692 5，220	80，355
本年度 (H12年度)				369，220 30，380	495，297
本年度補正後 (H12年度)				+(or ▲) +(or ▲)	+(or ▲)
翌年度 (H13年度)		―――		184，510 27，536	298，886
計画目標年次 (H　年度)		―――		―――	―――

7　翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM：Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト：　☆５億円以上　◎～１億円　◇～５千万　△～１千万　・１千万未満　＊休止・廃止〉



※　各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

８　基本事務事業を構成する事務事業の詳細
※　新規事務事業には、事務事業名に（新）を付す

事務事業名（担当課）	成果指標名	事務事業の概要	13年度予算額（千円）	予算額前年度比（±千円）	13年度所要時間（時間）	所要時間前年度比（±時間）
バリアフリーのまちづくり推進事業費（健康福祉政策課）	バリアフリーのまちづくりビジョン達成率	バリアフリーのまちづくり推進条例の総合的な推進を図るため、推進協議会の開催、推進本部活動の推進、実施計画の策定等を行う。	1,125	104	2,000	0
バリアフリーのまちづくり普及啓発事業費（健康福祉政策課）	バリアフリーのまちづくり普及啓発率	バリアフリーのまちづくり推進条例の広報・啓発、職員バリアフリー体験セミナーやバリアフリーアドバイザー養成講座を実施し、バリアフリーについての県民意識を醸成するとともに、すべての人に利用しやすく配慮された建築物に「三重県バリアフリーまちづくり大賞」を授与する。	16,656	3,560	20,000	4,000
タウンモビリティ推進事業費（健康福祉政策課）	実験事業参加度	障害者や高齢者がまちの中でスムーズに移動できるよう電動スクーターを利用して中心市街地のバリアフリー化を進める。	9,558	2,079	1,500	500
県有施設バリアフリー対策事業費（管財営繕課）	改善調査施設率	県有施設において、高齢者、障害者等による利用体験を通じその意見をとりまとめ、施設の改善計画を作成し、県民の意見も取り入れた施設改善計画に基づき改善工事を施工する。	141,241	▲ 13,151	1,536	1,056
バリアフリー情報提供事業費	回収率	バリアフリーの情報を障害者高齢者等に提供することにより、社会への自由な参加を促進する。	10,198	5,759	2,300	300
松阪バリアフリーのまちづくり推進事業費（健康福祉政策課）	一人あたりのバリアフリー情報抽出数	バリアフリーのまちづくりを推進するため、部会を設置し、ワークショップによる意見交換を行い、声の情報地図づくりを進める。	5,732	▲ 1,749	200	0